



2022年12月期

決算説明会資料

2023年2月27日

セグエグループ株式会社

証券コード：3968

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性のあることをご承知おきください。

目次

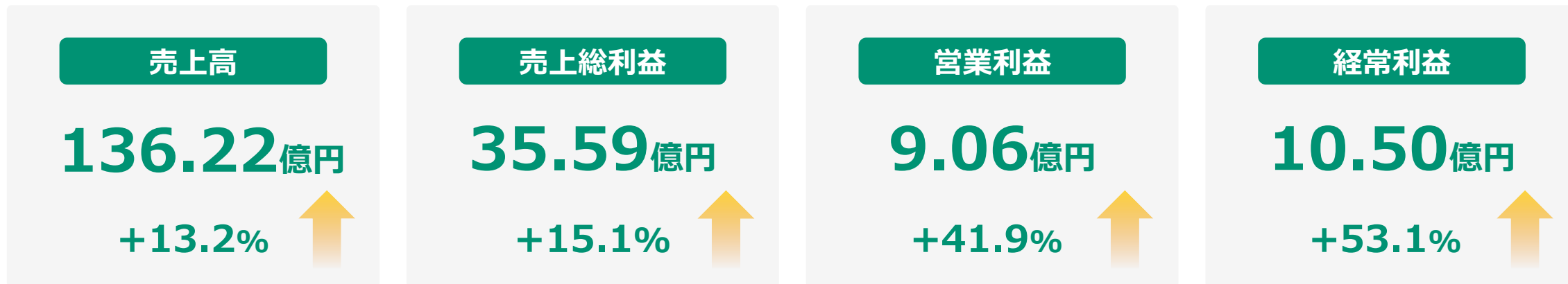
1. 2022年12月期 ハイライト
2. 中期目標と進捗
3. 2023年12月期 業績予想
4. 参考資料



1

2022年12月期 ハイライト

売上高及び各段階利益、すべての数値で過去最高を更新！

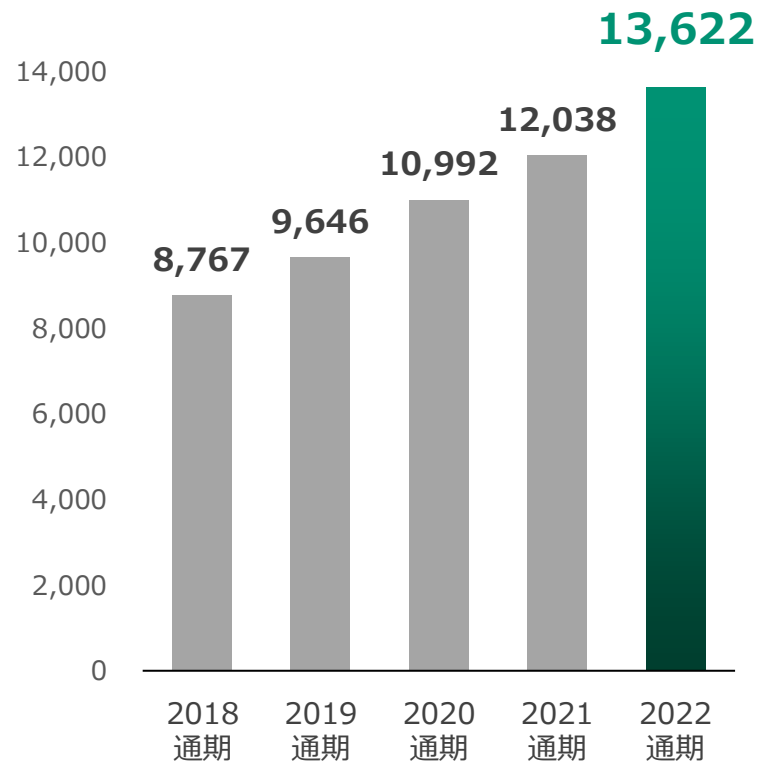


業績概要

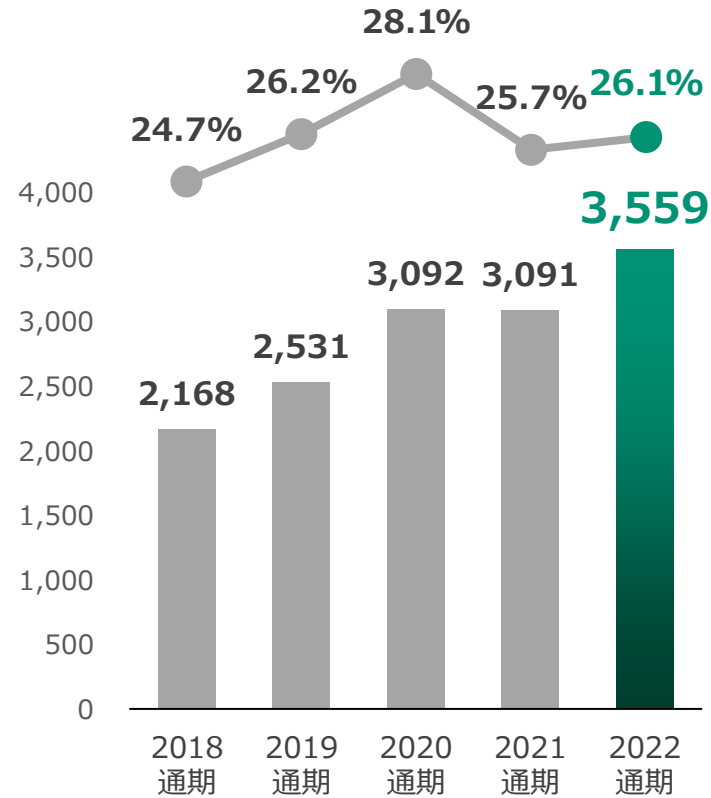
- 売上高：DX進展による好影響を受け、セキュリティ及びDXインフラ製品等の販売が増加
「収益認識に関する会計基準」の適用等による減少影響を受けてなお増収
当該基準の適用等がなかった場合は、142.86億円（+18.7%）
- 売上総利益・営業利益：自社開発の販売伸長が牽引し、売上総利益が増大、営業利益は大幅増加
- 経常利益：保有外貨建資産の評価により為替差益を計上し、大幅増加
- 受注残：64億円（2021年期末）⇒ 70億円（2022年期末）

ハイライト：業績推移

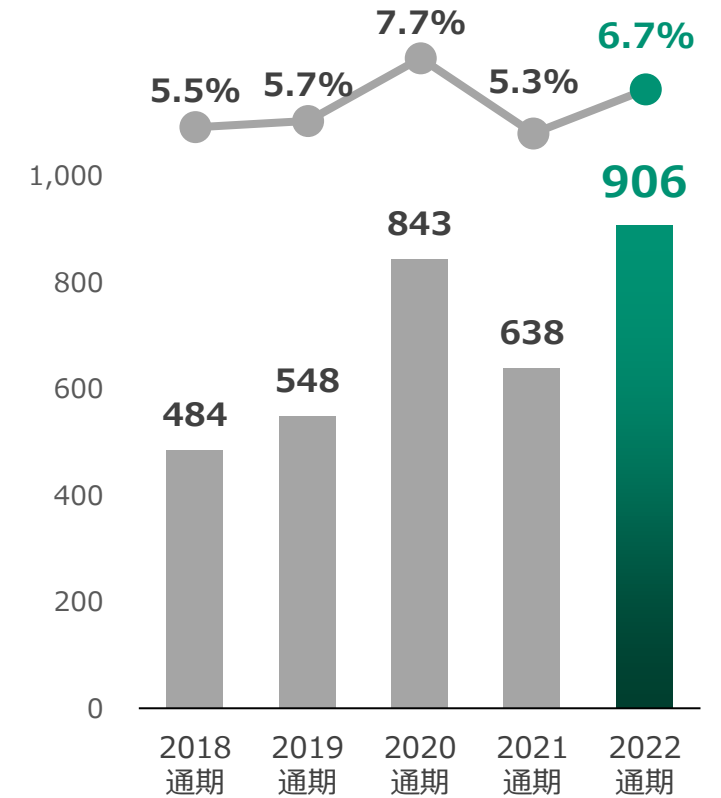
売上高 (百万円)



売上総利益 (百万円) 売上総利益率 (%)

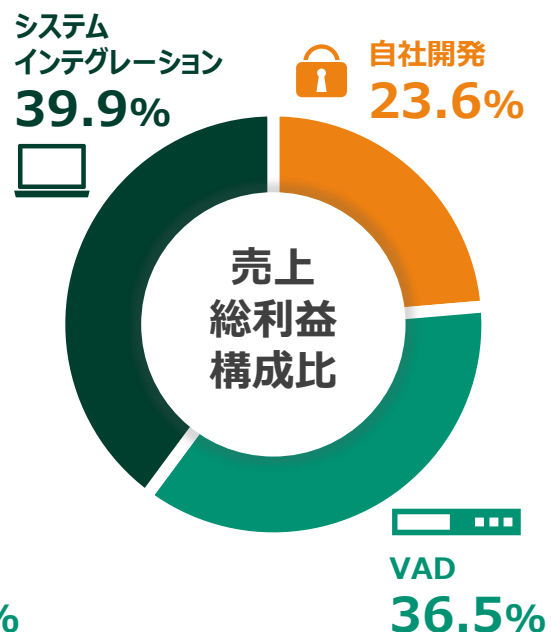
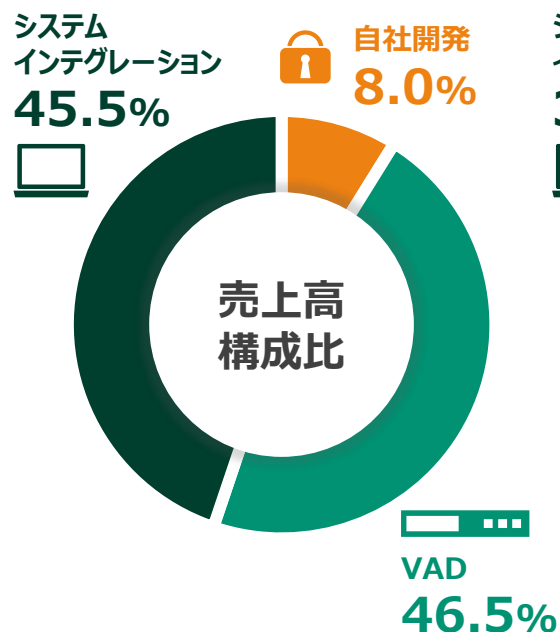


営業利益 (百万円) 営業利益率 (%)



ハイライト：ビジネス別数値

自社開発は、自治体、医療機関等へセキュリティ対策ソリューションの販売が、大幅に伸長
 VADは、販売好調により増収も、為替影響もあり売上総利益は微減（為替ヘッジにより営業外の為替収益でカバー）
 システムインテグレーションは、収益認識に関する会計基準の適用を受け横ばいも、従来基準では大幅な増収

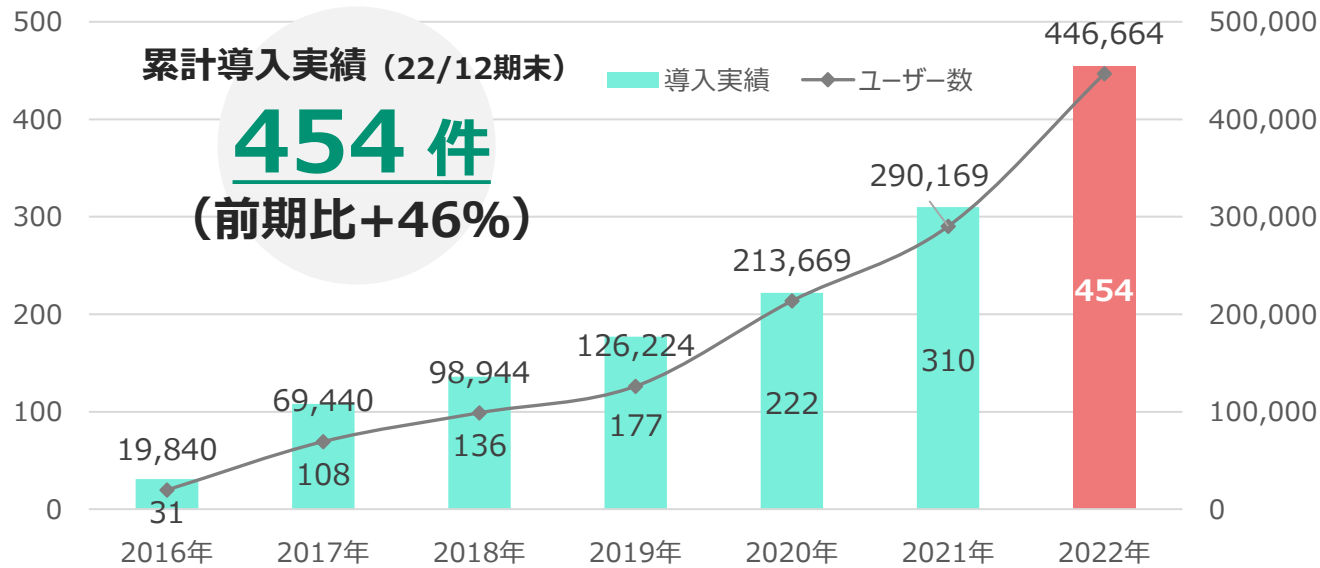


自社開発 ビジネス	売上高 10.88億円 +79.0%	売上総利益 8.41億円 +153.3%
VAD ビジネス	売上高 63.31億円 +20.3%	売上総利益 12.98億円 ▲1.1%
システム インテグレーション ビジネス	売上高 62.02億円 +0.6%	売上総利益 14.18億円 ▲1.9%

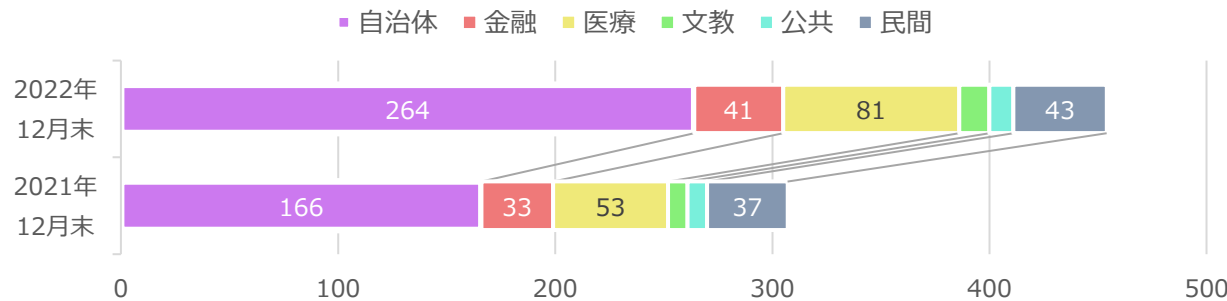
※ 「収益認識に関する会計基準」の適用及び付随する取組みにより、システムインテグレーションビジネスを中心に売上高に6.63億円の減少影響が生じております。

ハイライト：ビジネスピックアップ－自社開発ビジネス/RevoWorks導入実績

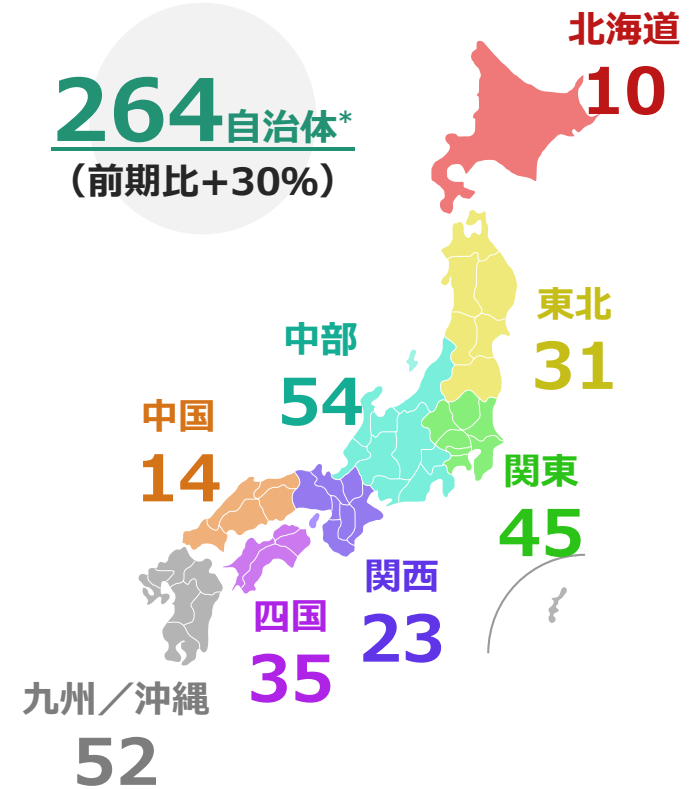
自治体や医療分野でのニーズを獲得し、各導入数は大幅増



〔業種別導入件数〕



〔自治体への導入実績〕



※自治体は都道府県・市区町村の合計
 ※医療分野では全国81病院の導入実績

VADビジネス

- 半導体不足による納期遅延影響が続く中、プロダクト販売の増加を達成
 - ✓ 売上高が前期比で2割近く（約7億円）増加
 - ✓ Juniper +24%、Ruckus +4%、Rapid7 +267%
- セキュリティ製品メーカーからの表彰
 - ✓ Juniper から6年連続、「Japan Distributor of the Year 2021」
 - ✓ Darktrace から2年連続、「2022 Darktrace Partner of the Year (Japan)」
 - ✓ Ivanti から「Strategic Win of the Year 2022」
- 着実にサポートサービス（ストック収入）を積上
 - ✓ 売上高が前期比で26%（約4億円）増加

VADビジネス

■ 新規セキュリティ商材の継続的取扱い



- ✓ 2022年4月 サイバー攻撃の兆候を検知する Rapid7 「Threat Command」



- ✓ 2022年6月 Microsoft365向けSaaS型バックアップサービス 「Barracuda Cloud-to-Cloud Backup」



- ✓ 2022年8月 IPデバイス可視化を基盤としたセキュリティソリューションを提供する「ForeScout」



- ✓ 2022年9月 サイバー攻撃を秘密裏かつ高度にエミュレーションする 「Cobalt Strike」



- ✓ 2022年9月 Microsoft365専用メールセキュリティサブスクリプション型ソリューション「Vade for M365」

ハイライト：ビジネストピック

システムインテグレーションビジネス

「収益認識に関する会計基準」の適用及び付随する取組みにより、売上高に減少影響を受けてなお増収

人財投資

事業の基盤として欠かせない技術者採用数の倍増を目指し、社長直轄プロジェクトとして始動採用、育成を加速するため、採用組織を強化

従業員数 2021年12月末 473名 → 2022年12月末 527名 (54名増、うち技術者43名)

高度セキュリティ技術者組織の新設

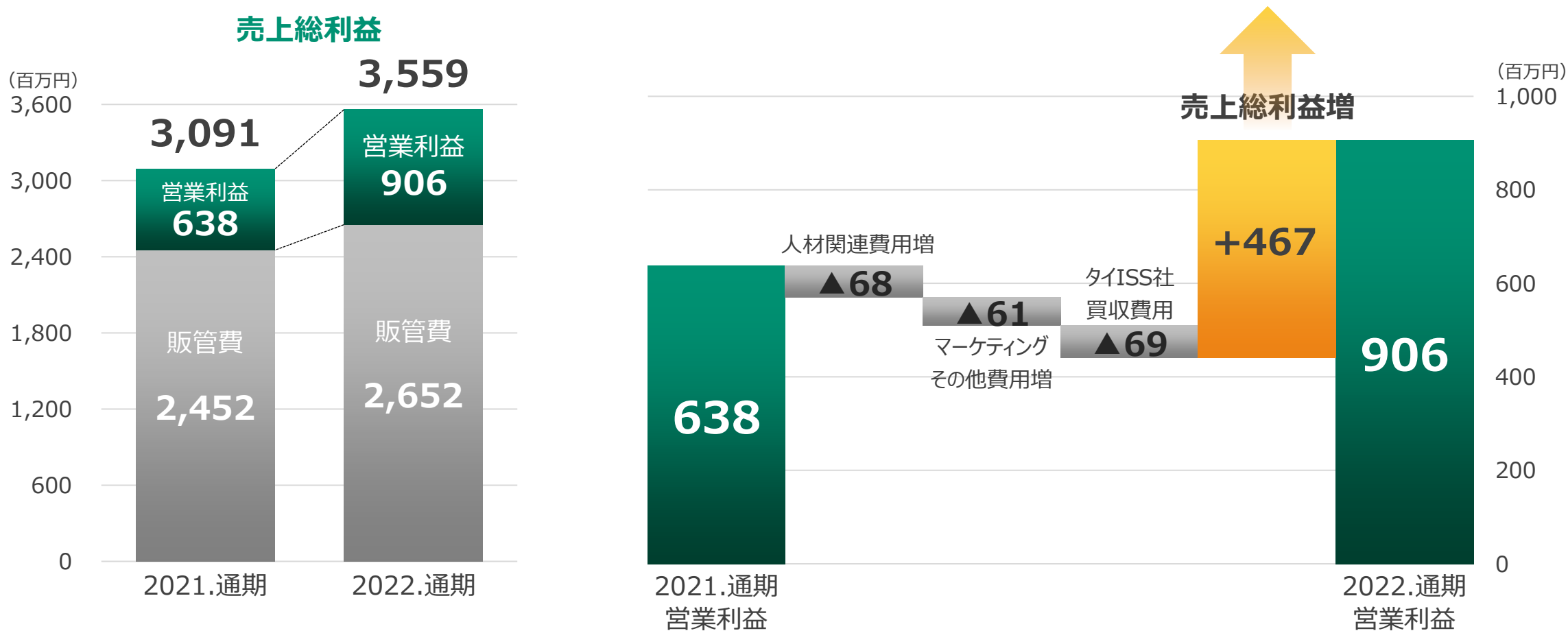
2022年11月、サイバーセキュリティを専門とする、セグエセキュリティを設立

海外進出

2022年12月、初の海外進出として タイ王国 ISS Resolutionを買収、子会社化

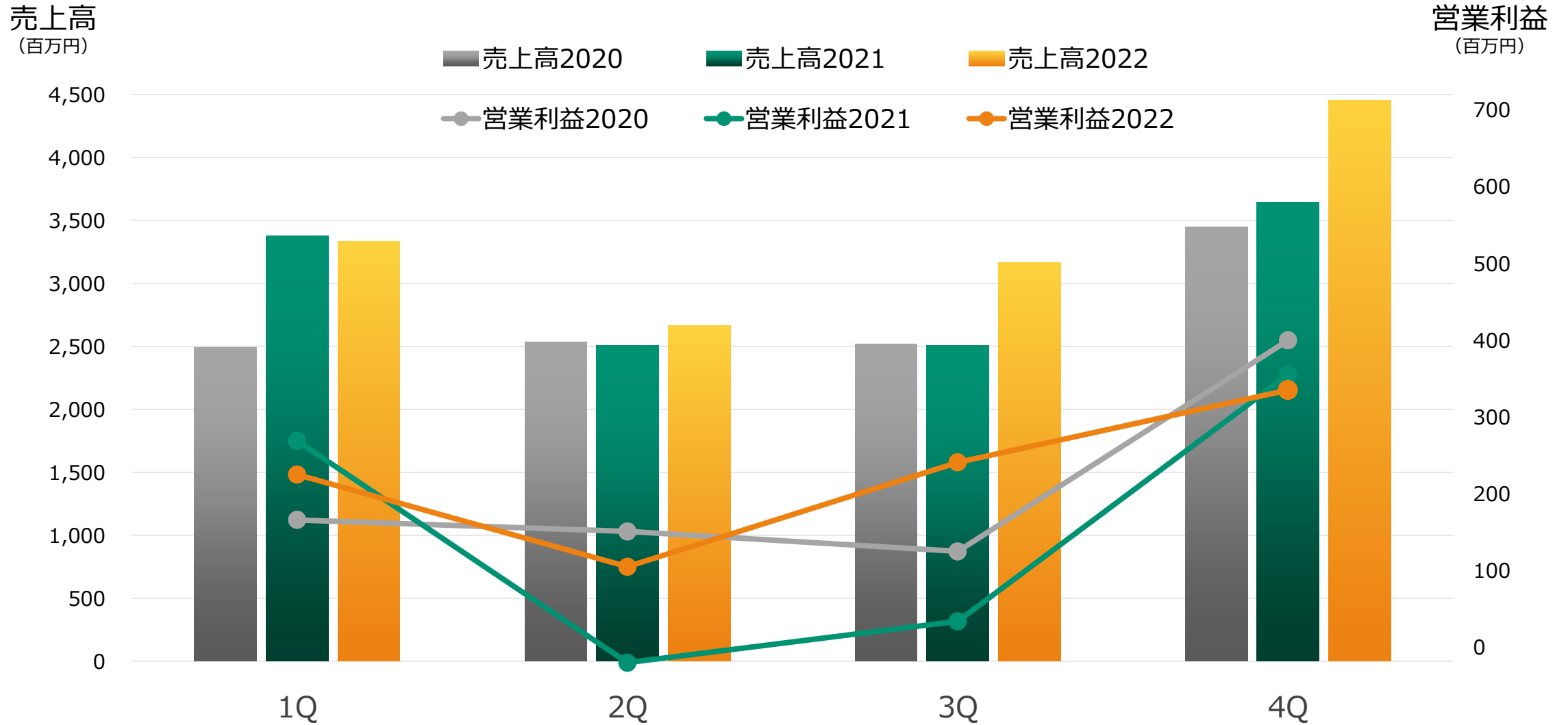
ハイライト：営業利益増減内訳

自社開発の販売伸長により売上総利益が増大、
タイISS社買収等の投資費用を吸収し、営業利益は40%超の増加を達成



ハイライト：四半期業績推移

四半期の売上高と営業利益の推移



ハイライト：連結損益計算書

すべての数値で修正予想を超過！

自社開発の利益増加がVADの為替影響を上回り 営業利益率も向上

単位：百万円

	2021.12 通期	2022.12 通期	前期比		通期 期初計画	通期予想 2022年 8月9日修正	修正予想 の達成率
			増減額	増減率			
売上高	12,038	13,622	1,584	+13.2%	13,300	13,300	102.4%
売上総利益	3,091	3,559	467	+15.1%			
(利益率)	25.7%	26.1%	+0.4pt				
販売費及び 一般管理費	2,452	2,652	199	+8.2%			
営業利益	638	906	267	+41.9%	760	760	119.2%
(利益率)	5.3%	6.7%	+1.4pt		5.7%	5.7%	
経常利益	686	1,050	364	+53.1%	760	804	130.6%
(利益率)	5.7%	7.7%	+2.0pt		5.7%	6.1%	
純利益	454	743	288	+63.5%	520	656	113.2%

※ 営業外収益に為替差益（197百万円）を計上

※ 特別利益に有価証券売却益（188百万円）を計上

将来的に売上となるストック型サービスの前受金が堅調に推移

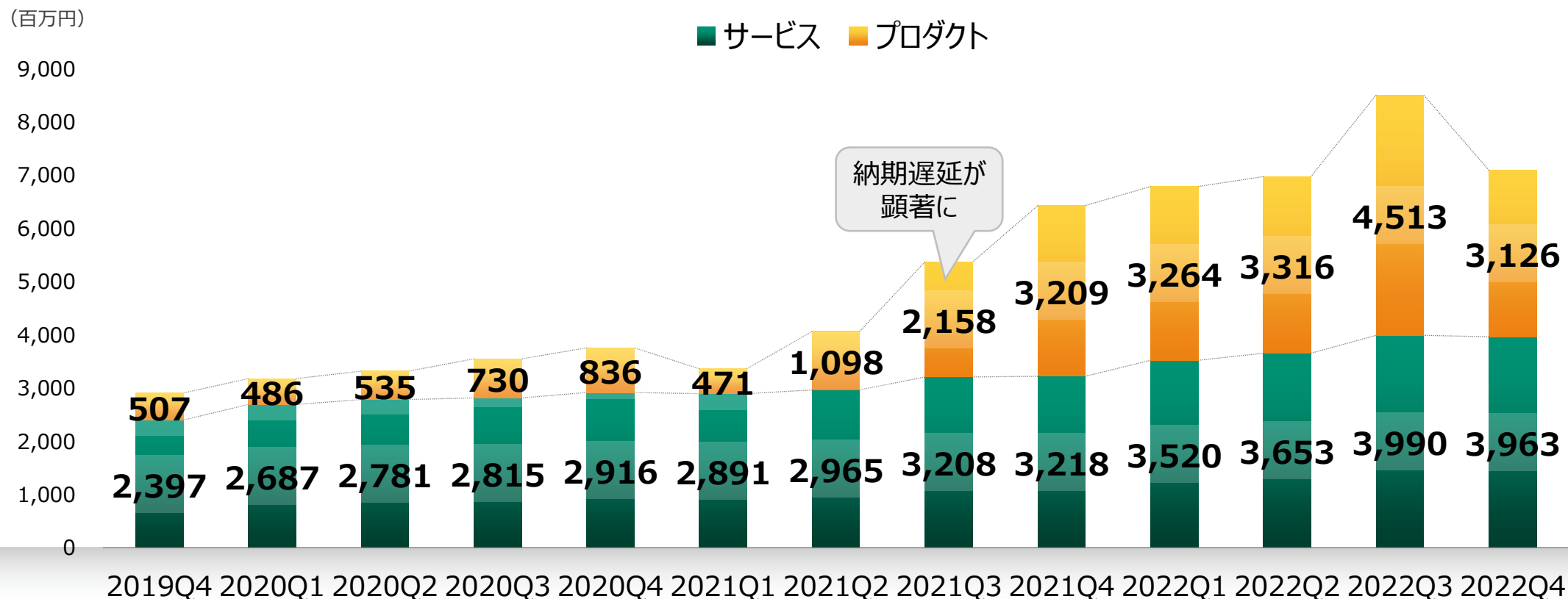
単位：百万円

	2021.12 期末	2022.12 期末	増減額
流動資産	7,236	9,975	2,739
現金・預金	1,351	2,989	1,637
受取手形、売掛金及び 電子記録債権	2,078	2,360	282
たな卸資産	2,376	3,103	727
その他	1,429	1,521	91
固定資産	1,388	1,276	▲112
有形固定資産	209	248	38
無形固定資産	166	258	92
投資その他資産	1,013	770	▲243
資産合計	8,625	11,252	2,626

	2021.12 期末	2022.12 期末	増減額
流動負債	5,101	6,367	1,265
買掛金	1,605	1,885	279
短期借入金等	501	287	▲213
前受金	2,472	3,137	665
その他	520	1,055	534
固定負債	324	1,200	875
負債合計	5,426	7,567	2,141
純資産合計	3,199	3,685	485
負債純資産合計	8,625	11,252	2,626

半導体不足による納期遅延の影響は継続しているものの、
2022年第4四半期は機器の確保及び納品が進む

サービスは堅調に増加





2

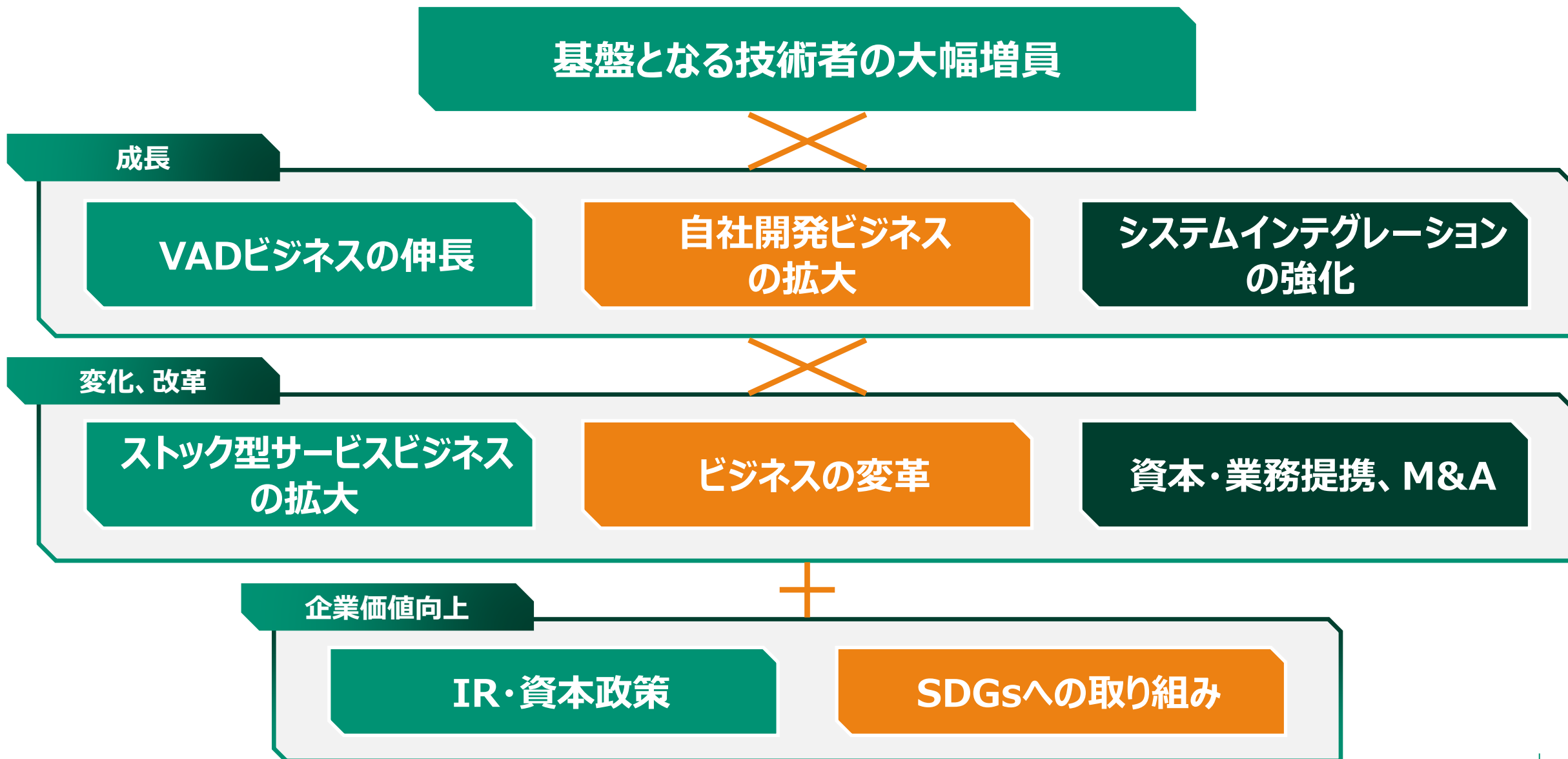
中期目標と進捗

2021年12月29日付でプライム市場を選択、 2024年12月期を最終年度とする中期目標を設定

	売上高	営業利益	当期純利益
2021年12月期 (実績)	120億円	6.3億円	4.5億円
2022年12月期 (実績)	136億円	9.0億円	7.4億円
2023年12月期 (予想)	157億円	10億円	6.7億円
2024年12月期 目標	170億円	12億円	8億円

※ 2022年12月期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

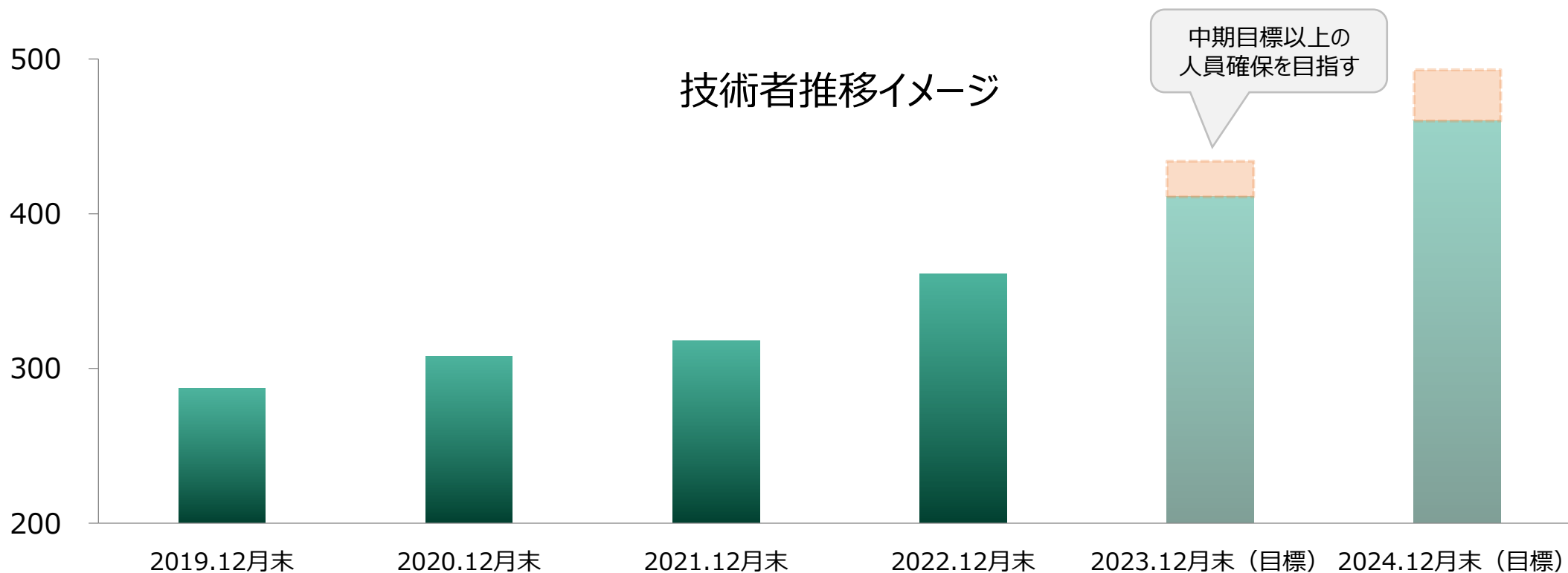
中期目標達成に向けた取組み



中期取組みの進捗：技術者採用

基盤となる技術者の大幅増員

- ✓ 社長直轄プロジェクトを始動。採用組織の強化、環境整備を進め、中期目標に掲げた技術者の採用数倍増・大幅増員を目指していく
- ✓ 2023年新卒入社 25名予定 うち技術職19名



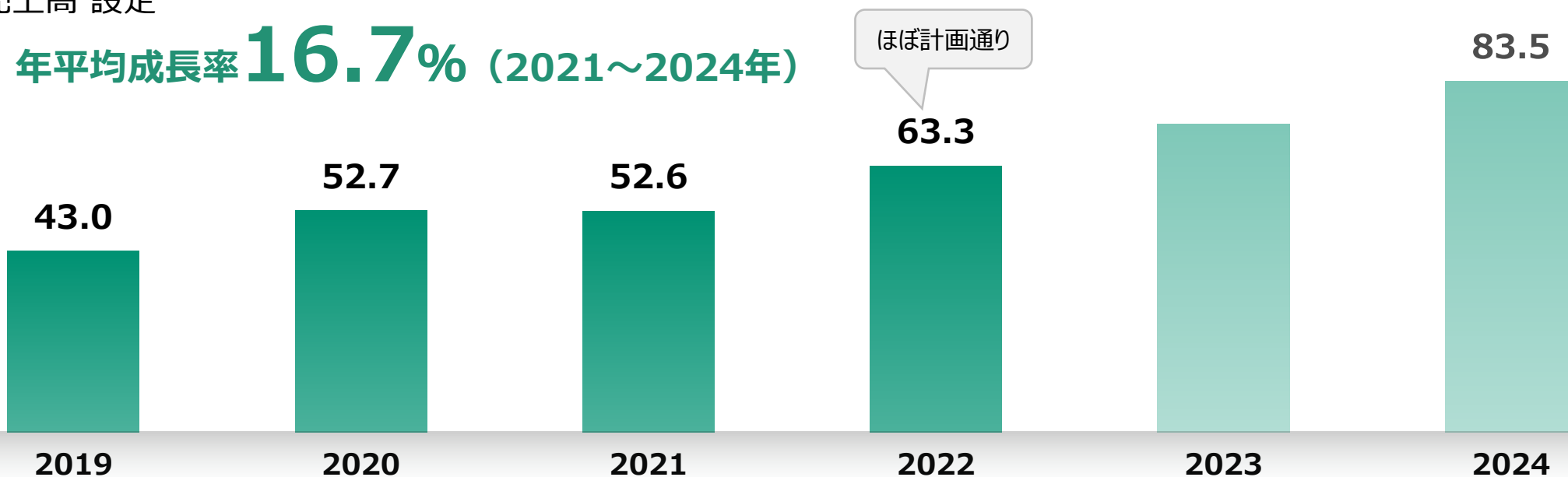
VADビジネスの伸長

- セキュリティ及びDXインフラ製品等の販売が伸長（前期比で2割近く増加）
- 新たに5つのセキュリティ商材の取扱いを開始
- 着実にサポートサービス（ストック収入）を積上げ（前期比で26%増加）

売上高 設定

年平均成長率 **16.7%** (2021~2024年)

単位：億円



中期取組みの進捗：自社開発ビジネス

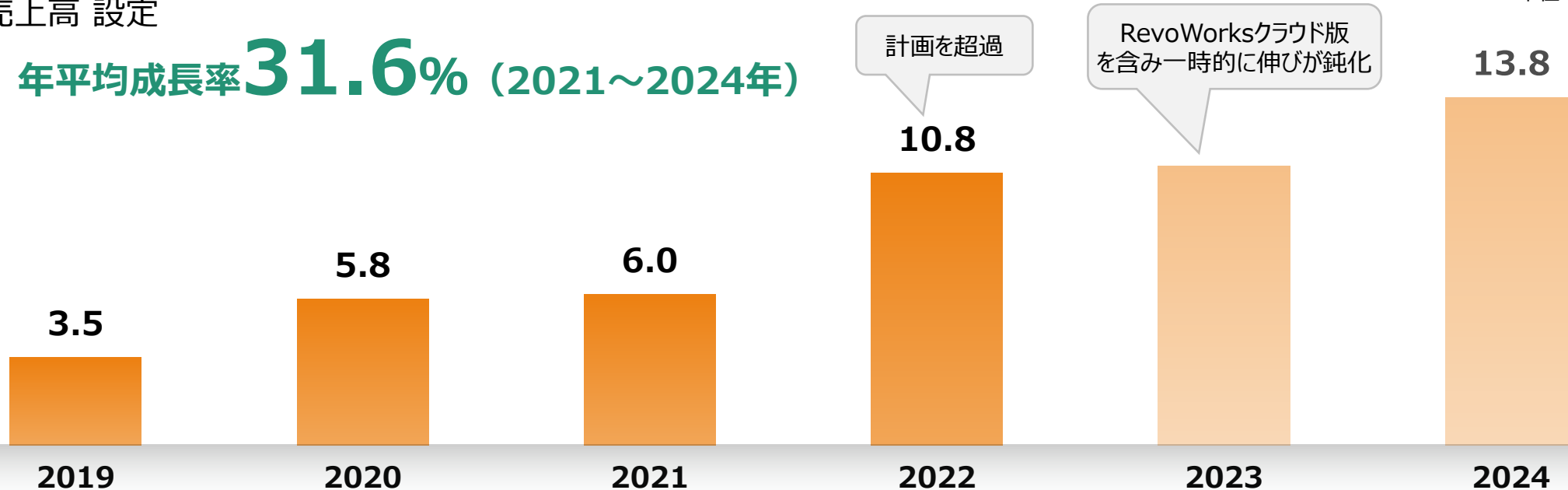
自社開発ビジネスの拡大

- 自治体情報システム強靱性案件を獲得
- 医療機関、金融機関、製造業等の民需展開
- 新シリーズ、クラウドバージョンの開発（ストック型サービスの拡大も狙う）

売上高 設定

年平均成長率 **31.6%** (2021~2024年)

単位：億円



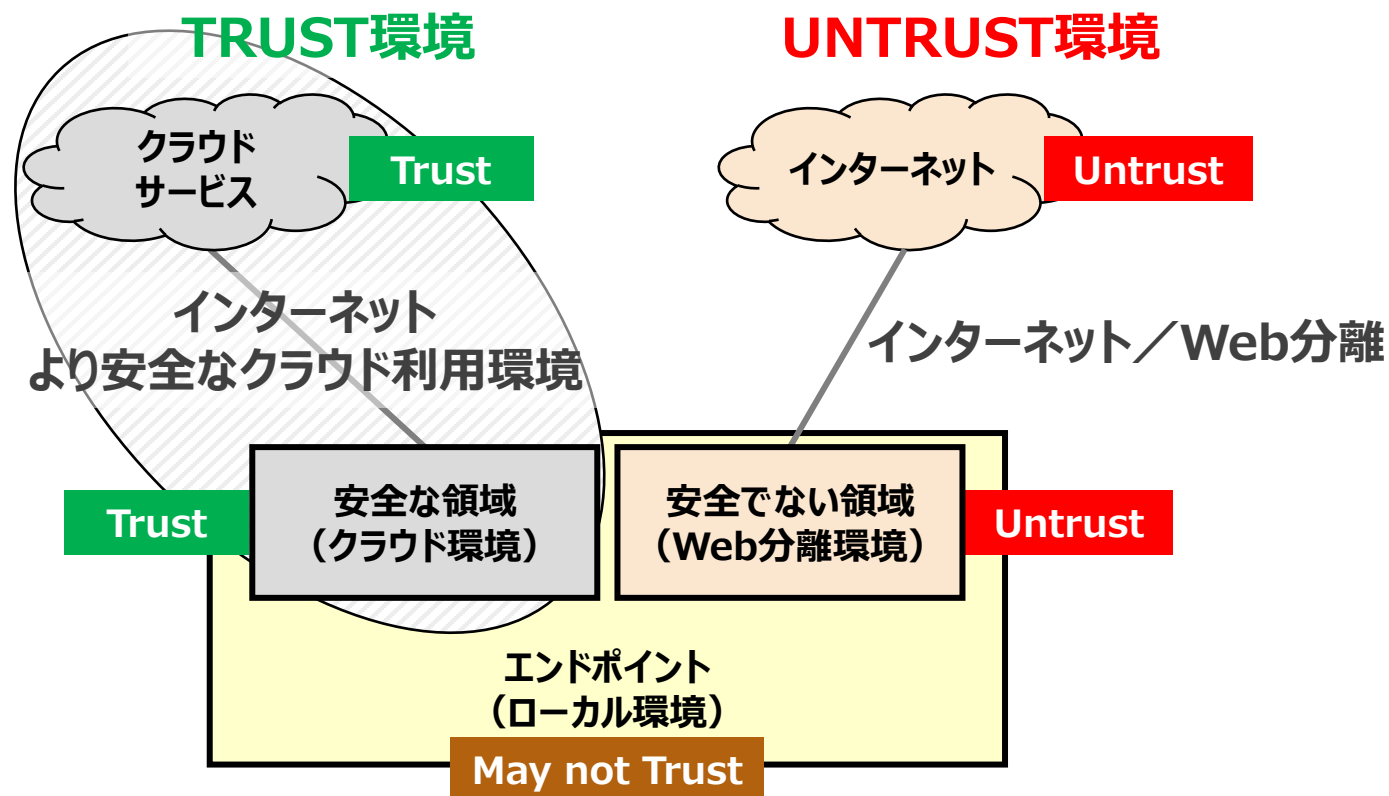
自社開発ビジネスの伸長 × ストック型サービスの拡大

RevoWorksクラウドバージョンの開発

より一層安全なクラウド利用環境の提供を目指し、RevoWorksのクラウドバージョンを開発
2023年夏頃販売開始予定、民需の取り込みも強化

<ポイント>

- ✓ ユーザデータの保護
(情報漏洩対策)
- ✓ 安全なクラウド利用環境と
Web分離環境の統合
- ✓ ユーザ利便性と
コストパフォーマンスの追求



中期取組みの進捗：システムインテグレーションビジネス

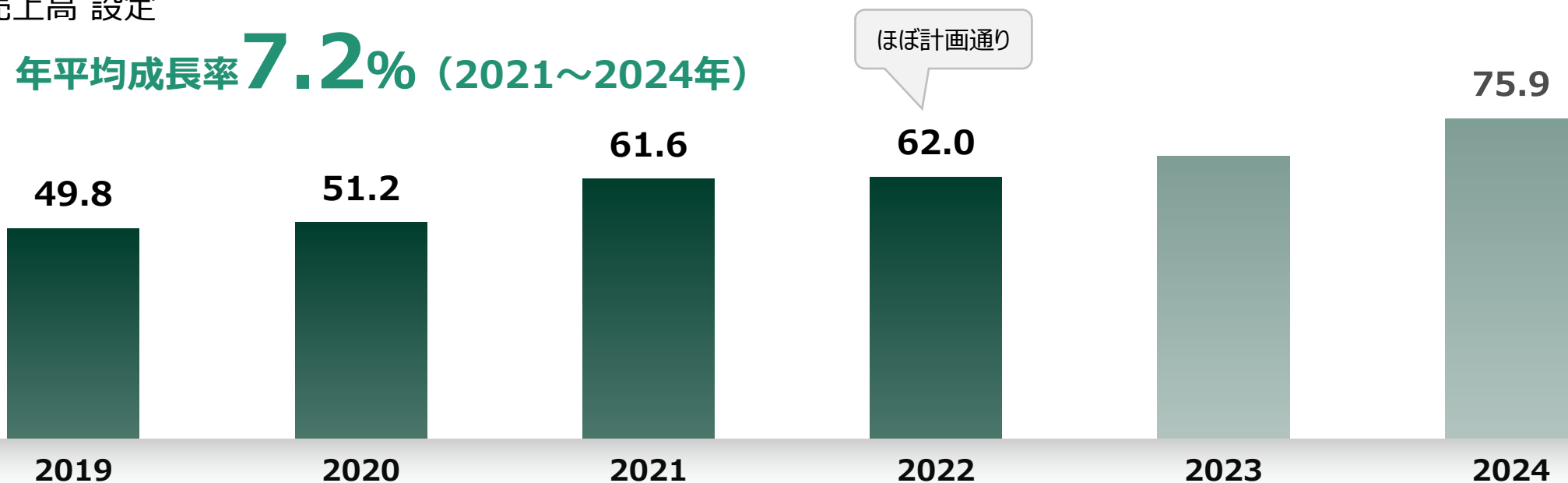
システムインテグレーションの強化

- 組織再編によるビジネス体制の最適化
- より規模の大きい案件の獲得
- DX運用支援としての情報システム支援サービスの提供、サービスメニューの拡大

売上高 設定

年平均成長率 **7.2%** (2021~2024年)

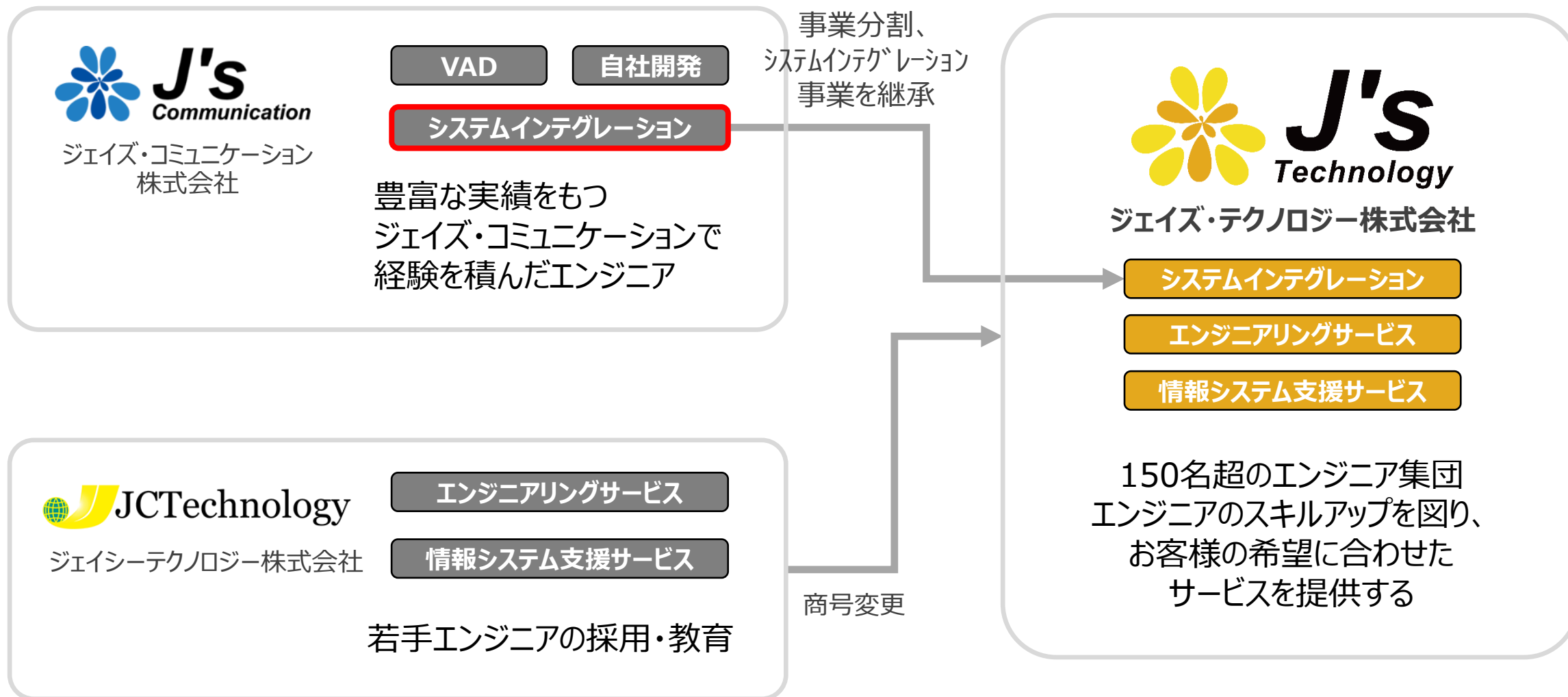
単位：億円



※ 2022年12月期は、「収益認識に関する会計基準」等の適用により、付随する取組みを含み売上高に6.63億円の減少影響が生じております。

システムインテグレーションの強化

技術サービス中心のソリューション展開を推進



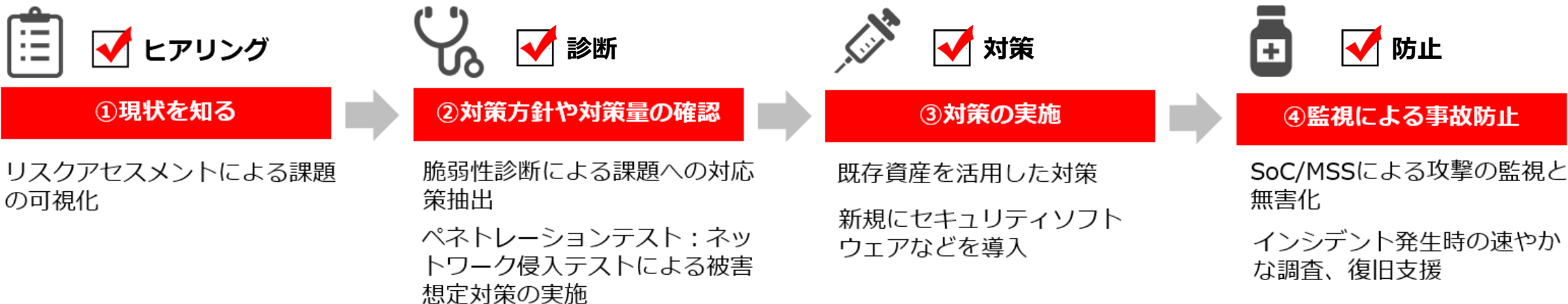
中期取組みの進捗：より高度なセキュリティサービスの提供



商号	セグエセキュリティ株式会社 (英：Segue Security Co., Ltd.)	
設立	2022年11月11日	
事業所	本社	東京都中央区新川1-16-3 住友不動産茅場町ビル
代表者	代表取締役会長 代表取締役社長	愛須 康之 守井 浩司
資本金	4,000万円	
事業概要	マネージドセキュリティサービスの提供 セキュリティ調査・診断・コンサルティングサービスの提供 情報漏洩対策機器・ソフトウェア・サービスの提供 セキュリティ教育・訓練サービスの提供 セキュリティシステムの設計・構築・設定サービスの提供	

- ✓ ホワイトハッカー集団 株式会社レオンテクノロジー
代表 守井浩司氏との共同出資により設立、
セキュリティソリューションの充実、
セキュリティ技術者の育成加速を図っていく
- ✓ まずは、人員募集（中途採用・新卒込み）と
教育に取り組む他、知名度を高め案件獲得に
繋がられるための露出をセミナー中心に実施予定

サイバーセキュリティに特化した事業を展開 今、実施すべきサイバーセキュリティ対策をワンストップで



リスクアセスメント



セキュリティ診断
ペネトレーション



コンサルティング
監査



SOC
MSS



フォレンジック



教育
人材育成



講演
講義

中期取組みの進捗：海外子会社の買収による地域拡大



商号	ISS Resolution Limited	
設立	1990年1月19日	
事業所	33/4 Rama 9 Road, Kweang Huaykwang, Khet HuayKwang, Bangkok, 10310 Thailand	
代表者	Managing Director	田中 健一郎
資本金	110,000,000 バーツ	
従業員数	22名	
事業概要	セキュリティ・IT インフラ製品の販売 メンテナンス、サポートサービスの提供 デジタルプラットフォーム	

- ✓ タイにてグローバルオペレーション対応している会社
(主要継続顧客は、DELL、Bank of Ayudhaya、Chulalongkorn Hospital)
- ✓ 当該企業の既存ビジネスを強化する他、セキュリティトレーニングなどの新規事業の構築に取り組む



- ✓ グローバル展開企業としてのポジショニング確立を目指し、ASEAN市場での事業展開を進める
- ✓ 国内だけでは不足が予測されるIT人材確保の場が海外にも広がることも期待

中期的取組み：資本政策・株主還元

- ✓ 2022年12月期は前期から2円増配の18円
- ✓ 2023年12月期以降は配当方針を変更（2023年2月13日発表）
利益還元の姿勢をより明確にし、かつ充実させるため
中間配当を開始、配当性向50%程度を基準に
2023年12月期の年間配当は中間15円、期末15円の合計30円を予想

	2018.12月期	2019.12月期	2020.12月期	2021.12月期	2022.12月期 (予定)	2023年12月期 (予想)
1株あたり 年間配当	5円 (配当開始)	10円 (記念配当5円含む)	16円 (期初計画10円)	16円	18円 (期初計画16円)	30円 (中間配当15円)
配当性向	15.1%	27.9%	29.2%	40.0%	27.4%	50.0%

今後も企業価値向上及び、利益拡大を図り、配当の増加を目指してまいります。

※ 変更後の配当方針の適用は、2026年12月期までを目安として当面の間を予定しております。

内藤剛志氏をイメージキャラクターとして起用

- 人々の日常を守る刑事役を長年務められてきた
内藤剛志氏のイメージと、安全なIT利活用を支える
当社グループの思いが合致するものと考え起用
- 企業認知度の向上、企業イメージの具現化を図り、
売上だけでなく人材採用効果、ステークホルダーからの
信頼感向上へ繋げる

ジェイズ・コミュニケーションWEBトップページ





3

2023年12月期 業績予想

2023年12月期 通期業績予想

中期目標の達成に向け、投資を続けながら
セキュリティ、インフラ製品及び関連サービスの販売を推進し、
2022～2024年度 中期目標 2年目想定値を上回る計画を策定

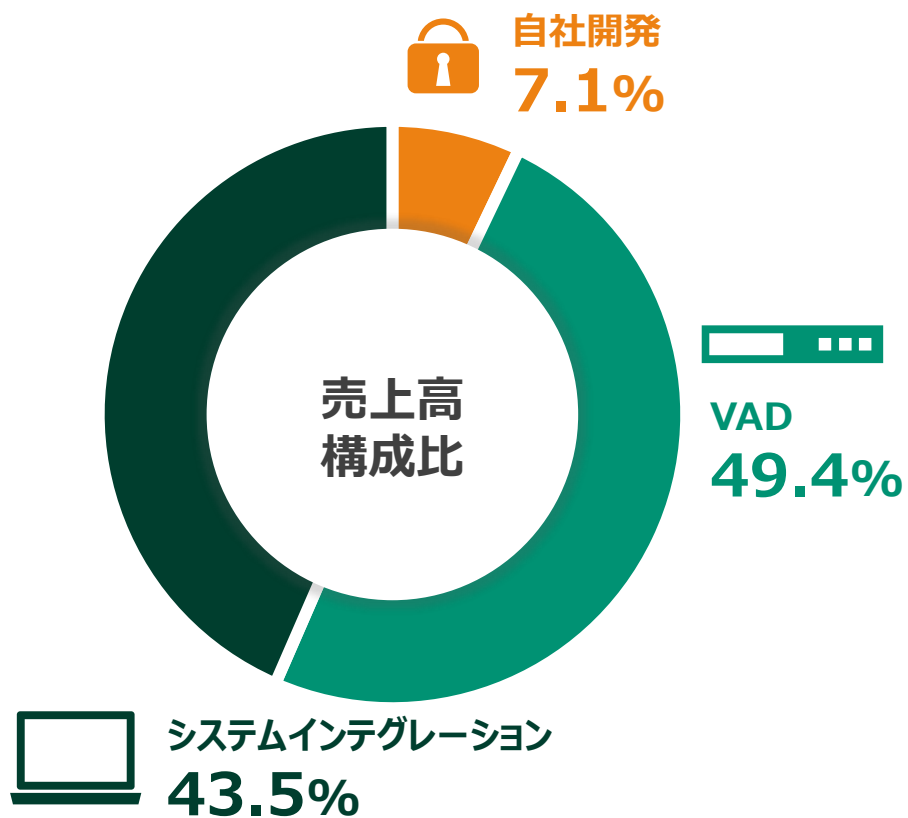
単位：百万円

	2022.12 通期	2023.12 通期（予想）	前期比	
			増減額	増減率
売上高	13,622	15,700	2,077	15.2%
営業利益	906	1,000	93	10.3%
(利益率)	6.7%	6.4%	▲0.3pt	
経常利益 [※]	1,050	1,000	▲50	▲4.8%
(利益率)	7.7%	6.4%	▲1.3pt	
純利益	743	679	▲63	▲8.6%

※2022年の経常利益(実績)には、197百万円の為替影響を含んでおりますが、
2023年の通期計画には、営業外損益において為替影響を見込んでおりません。

2023年12月期 ビジネス別計画

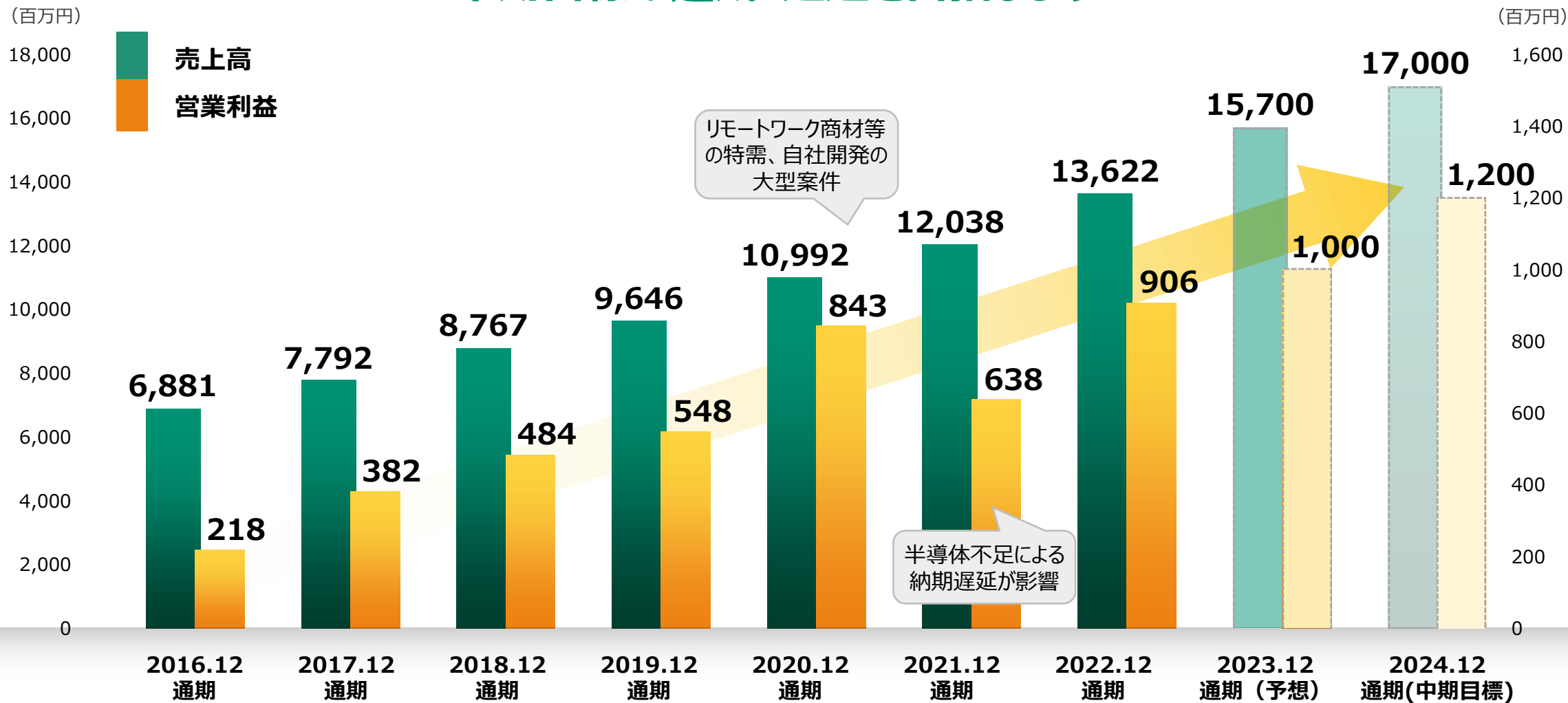
自社開発は、RevoWorksクラウド版 (サブスク収益) へのシフトを含み、コストが先行。一時的に売上総利益率が低下
 VADは、セキュリティ及びDXインフラ製品、新規取扱い製品も含み、売上増大を図る。一部納期の正常化も期待
 また為替が2022年よりは安定すると予想し、売上総利益率の回復を見込む
 システムインテグレーションは、サービス提供の拡大、技術者の採用と育成を加速させながら増収増益を狙う



ビジネス	売上高	売上総利益
自社開発 ビジネス	11.1億円 +2.3%	6.7億円 ▲19.7%
VAD ビジネス	77.6億円 +22.6%	19.4億円 +49.6%
システム インテグレーション ビジネス	68.2億円 +10.0%	14.9億円 +5.7%

※自社開発ビジネスには、セグエセキュリティ株式会社が提供する独自セキュリティサービスを含みます。

平均成長率 2 桁を続け、 中期目標の達成・超過を目指します



IT技術を駆使して価値を創造し、お客様とともに成長を続け、
豊かな社会の実現に貢献します。



ジェイズ・テレコムシステム(株)



ジェイズ・コミュニケーション(株)



ジェイズ・テクノロジー(株)



セグエセキュリティ(株)



ジェイズ・ソリューション(株)



ISS Resolution Limited

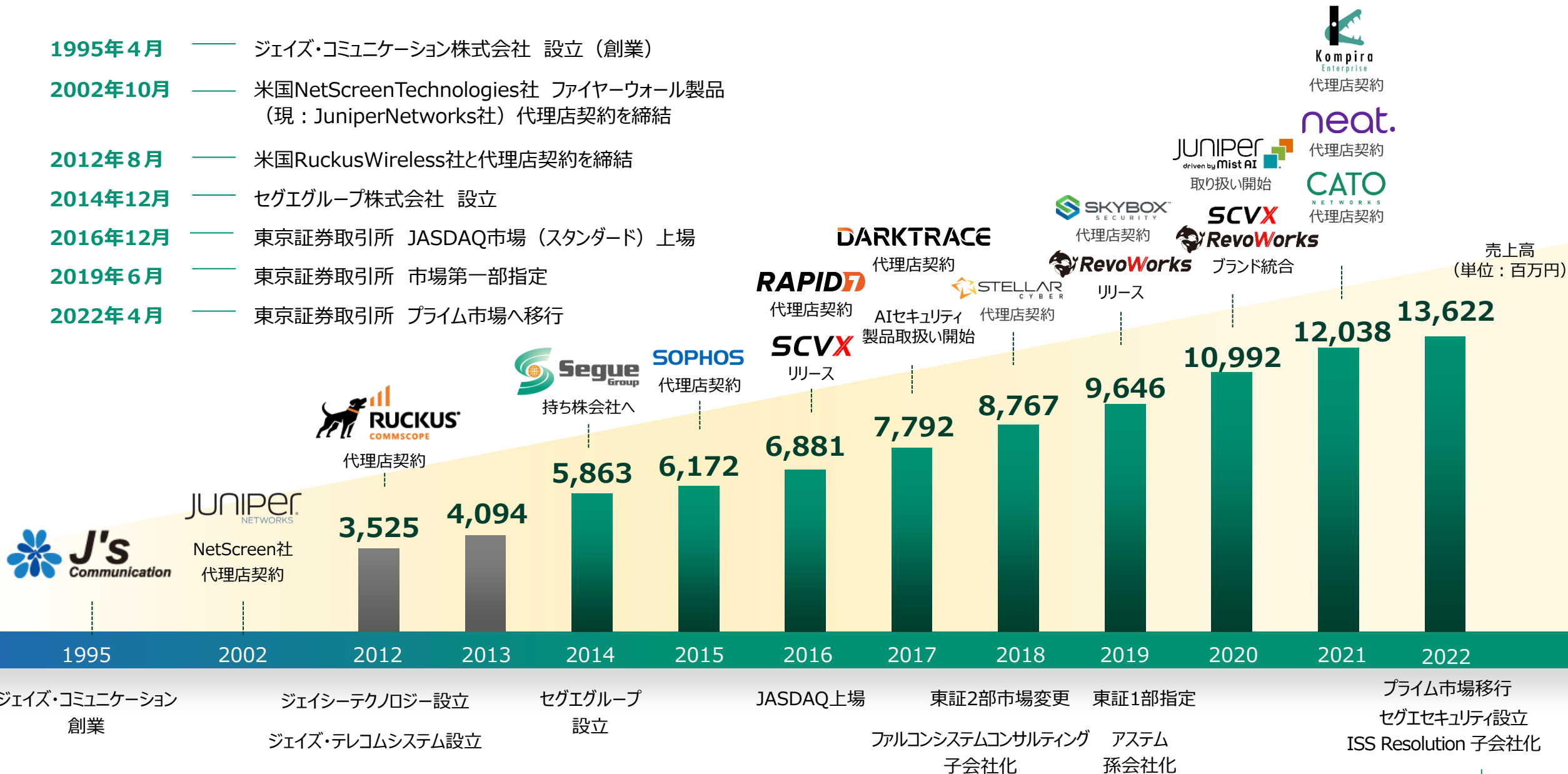


4

參考資料

セグエグループの歩み

- 1995年4月 — ジェイズ・コミュニケーション株式会社 設立（創業）
- 2002年10月 — 米国NetScreenTechnologies社 ファイヤーウォール製品（現：JuniperNetworks社）代理店契約を締結
- 2012年8月 — 米国RuckusWireless社と代理店契約を締結
- 2014年12月 — セグエグループ株式会社 設立
- 2016年12月 — 東京証券取引所 JASDAQ市場（スタンダード）上場
- 2019年6月 — 東京証券取引所 市場第一部指定
- 2022年4月 — 東京証券取引所 プライム市場へ移行



セキュリティ・ITインフラのトータルソリューションを提供し お客様のビジネス基盤を支えます

セキュリティ

標的型攻撃対策、
情報漏洩対策、
脆弱性対策、
テレワークセキュリティ



ITインフラ

ネットワーク、仮想化、
クラウド、ワイヤレス

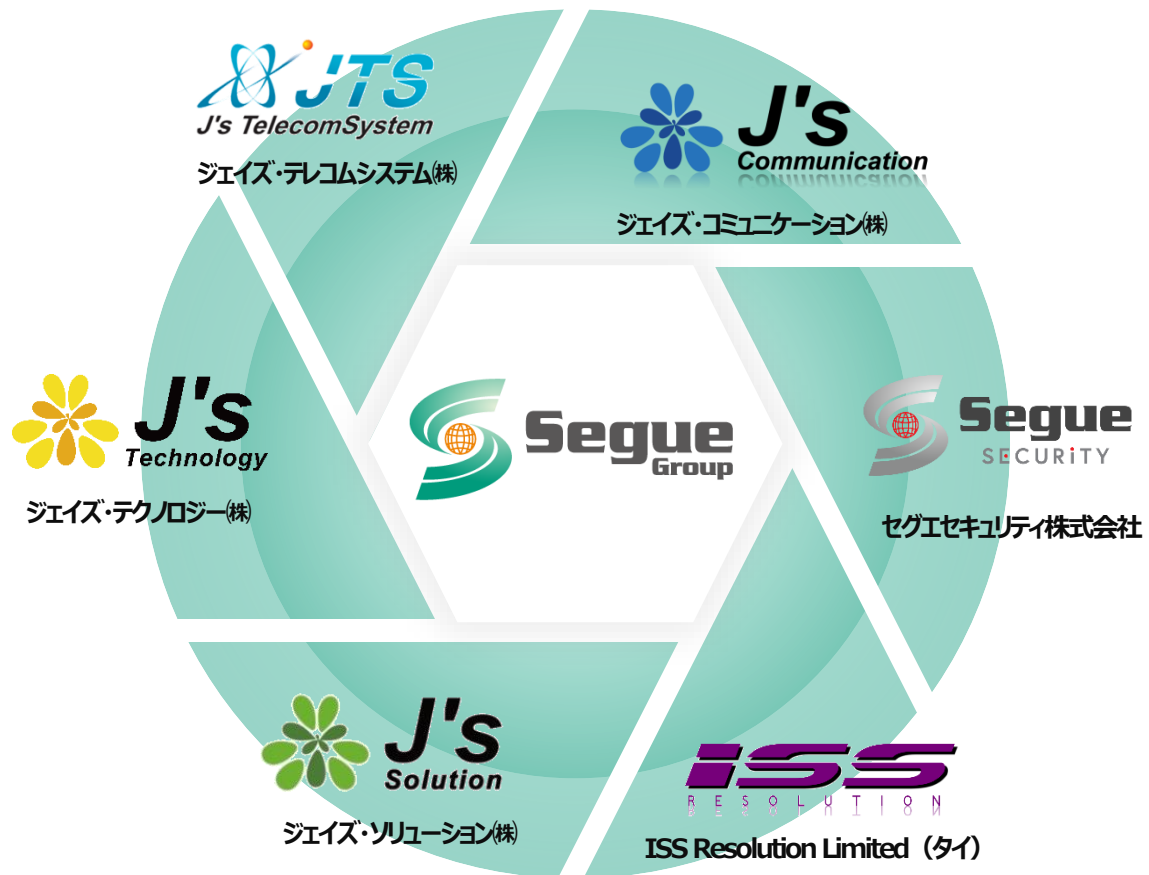
通信事業者 データセンター
サービスプロバイダ

官公庁、地方自治体
教育機関、医療機関

エンタープライズ
製造業、金融機関等

会社概要：グループ会社

グループ社員数527名。うち約7割技術者



ソリューションプロダクト

ネットワーク
セキュリティ製品
[自社開発
セキュリティソフトウェア]

ITインフラ
製品

セキュリティ、ITインフラ製品を
組み合わせたソリューション提供
システムインテグレーション

ソリューションサービス

設計及び構築サービス

保守サービス

ヘルプデスクサービス

独自
セキュリティサービス

IT技術者 SEサービス

その他
(監視・派遣等)

会社概要：ビジネス構成

パートナー、システムインテグレータ、お客様のご要望により様々な付加価値をご提供

	<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;"> 自社開発 </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ セキュリティソフトウェアライセンス販売 ■ 独自セキュリティサービス ■ サポートサービス・ヘルプデスク <div style="border: 1px solid #f4a460; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 自社製品 </div> <div style="border: 1px solid #f4a460; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> サポートサービス </div>	<div style="background-color: #008080; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 代理店 (VAD) 海外中心 </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ セキュリティ・ITインフラ製品、ソフトウェアライセンス販売 ■ サポートサービス・ヘルプデスク ■ オンサイト保守サービス <div style="border: 1px solid #008080; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 製品代理店 </div> <div style="border: 1px solid #008080; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> サポートサービス </div>	<div style="background-color: #006400; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> システム インテグレーション </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ ITインフラ・セキュリティ等の設計構築、導入サービス ■ 情報システム支援サービス <div style="border: 1px solid #006400; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> サーバ等 (H/W,S/W) </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid #006400; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 自社製品 </div> <div style="border: 1px solid #006400; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> 製品代理店 </div> </div> <div style="border: 1px solid #006400; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> プロフェッショナルサービス </div>
プロフェッショナルサービス 設計構築	●	●	
SEサービス 請負、派遣	●	●	●
マネージドサービス 監視、管理等運用	●	●	●

事業について：自社開発ビジネス

自社開発ビジネスとは

培った技術を駆使し顧客の安全を支える
独自のセキュリティ製品・サービスを提供するビジネス


自社開発ソフトウェア

- セキュリティと業務効率を向上させ、働き方の質を高める

“RevoWorks” シリーズ

 サーバ型仮想ブラウザ “RevoWorks SCVX”

 ローカル仮想ブラウザ “RevoWorks Browser”

 ローカル仮想デスクトップ “RevoWorks Desktop”

- 視覚的にわかりやすい画像や欄数表などをパスワードに用いる

“WisePoint” シリーズ

WisePoint

認証&テレワークソリューション “WisePoint Authenticator”

認証&シングルサインオンソリューション “WisePoint 8”

独自のセキュリティサービス



組織に存在するセキュリティリスクの
アセスメントサービスから、
監視分析対策、セキュリティ診断、
従業員教育、インシデント発生時の
調査から対応までサイバーセキュリティに
不可欠なソリューションをワンストップで
統合的に提供



セキュリティと業務効率を向上させ、働き方の質を高めます！



RevoWorks SCVX
レボワークス エス・シー・ブイ・エックス

サーバコンテナを用いた仮想ブラウザ



RevoWorks Browser
レボワークス ブラウザー

ローカルコンテナを用いた仮想ブラウザ

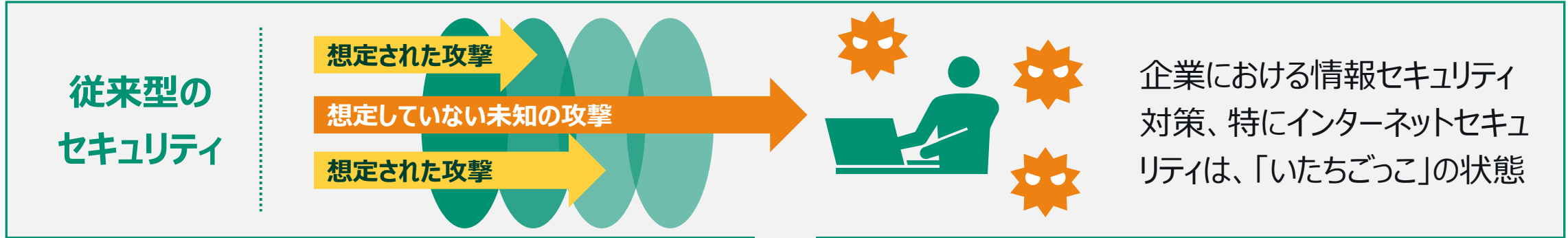


RevoWorks Desktop
レボワークス デスクトップ

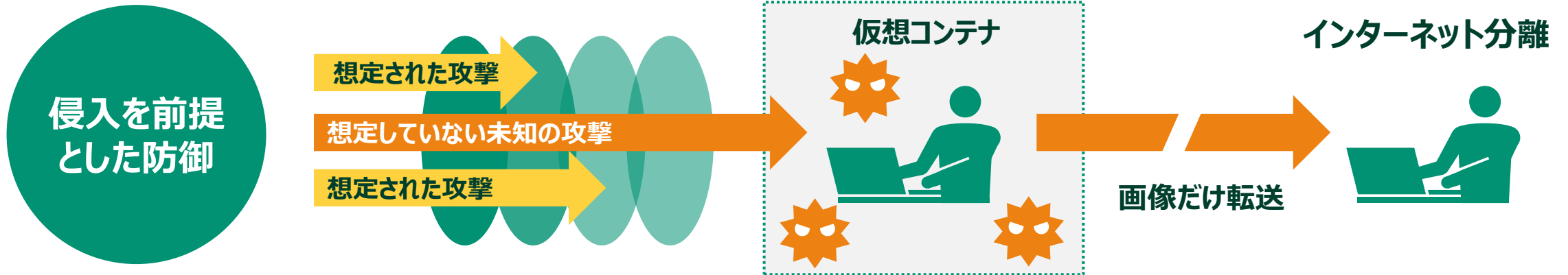
ローカルコンテナを用いた仮想デスクトップ

インターネット分離／ファイル無害化

情報漏えい対策
働き方改革／テレワーク



RevoWorks SCVX のセキュリティ



1. 攻撃を受けたとしても、その影響は仮想コンテナのみにとどまり、自身のPCは無傷
2. 自身のPCのブラウザを落とすと仮想コンテナもマルウェアごと消滅

事業について：VADビジネス

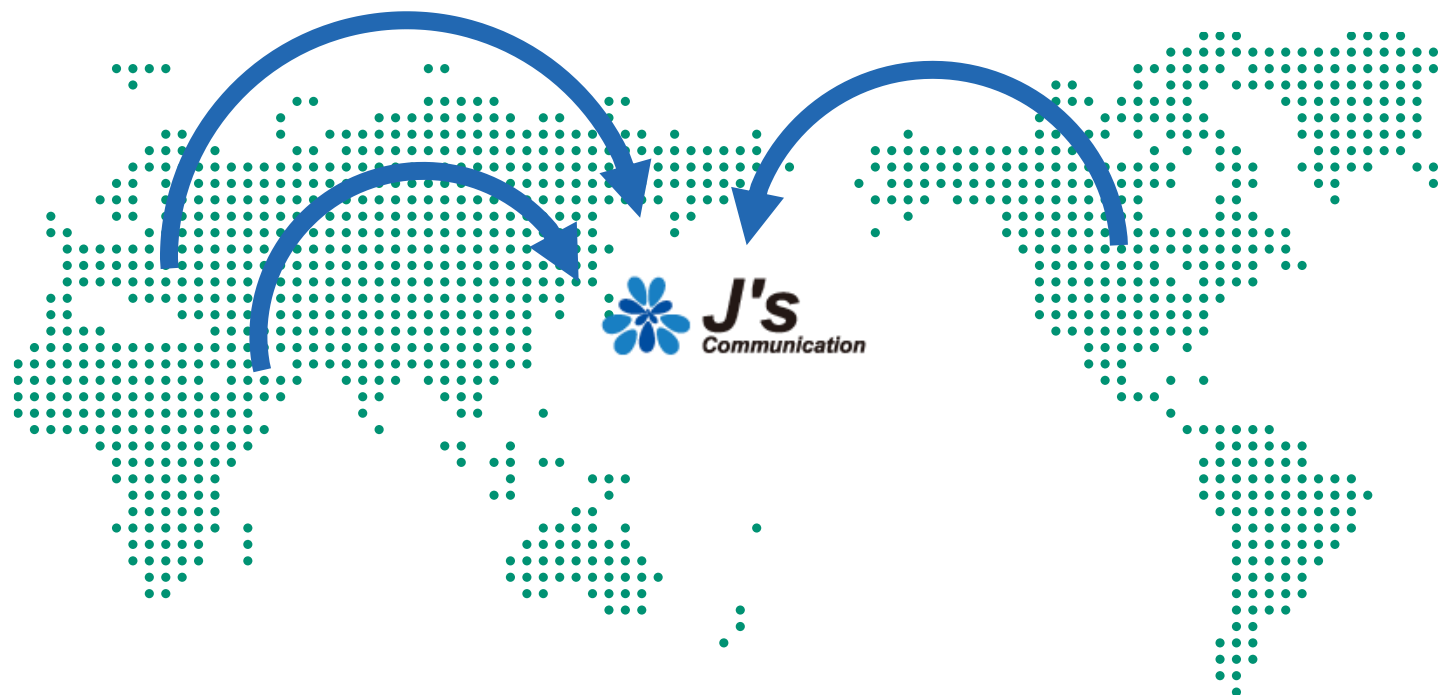
VADビジネスとは

※VADはValue Added Distributorの略称

最先端技術、グローバル技術、ニッチ技術等を搭載したプロダクトを米国をはじめとするセキュリティ先進国から輸入顧客の要望に応じ、設計・構築やサポート等の技術的付加価値と共に提供するビジネス

セキュリティ分野取扱製品

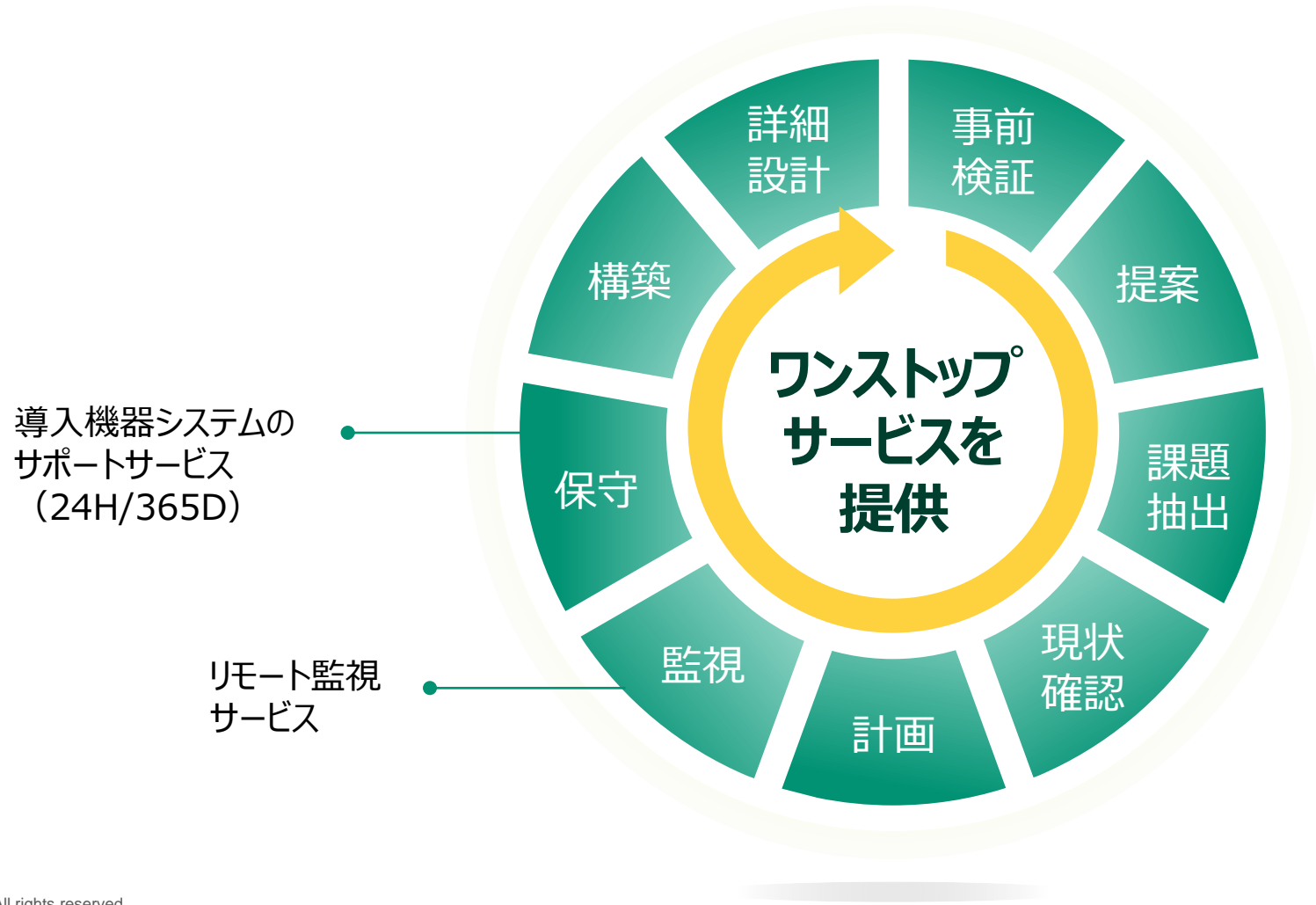
- WAF
- セキュリティ脆弱性診断、管理
- IPアドレス管理
- ネットワーク管理
- Firewall / VPN
- 次世代Firewall
- UTM
- マルウェア対策



主な輸入代理店契約メーカー

事業について：システムイングレーション

セキュリティ・ITインフラ等のソフトウェアやアプライアンスを組み合わせたシステムに、アフターサービスや監視・運用支援サービス等の役務提供を付加して販売するビジネス



AI・自動化を駆使しセキュリティ技術者の不足を補い
安全、快適なソリューションを提供します。

サイバーセキュリティ対策ソフトウェア



DARKTRACE



RAPID7

Azure Defender for IoT

NWインフラ

GWセキュリティ

JUNIPER NETWORKS SOPHOS



スイッチ

JUNIPER NETWORKS
EX/QFXシリーズ

ルーター

JUNIPER NETWORKS
MXシリーズ

SDN

JUNIPER NETWORKS
Contrail

インテグレーション・
トータル
提案

モビリティ・認証

Wi-Fi



リモートワーク

ivantiv
(旧PulseSecure)

認証



Soliton

WisePoint

- 仮想通貨の流出
- 窃取した情報、ハッキングツール等闇社会で売買

- 自治体情報システム強靱化
- セキュリティ対策強化

ビッグデータ

DarkWeb

- 工場自動ネットワーク化普及と乗っ取り
- IoT家電の普及と乗っ取り

- ランサムウェア
(身代金要求型マルウェア)
- フィッシング詐欺
- Webサービスの停止、改ざん

マイナンバー

IoT、IIoT

- 情報の奪取だけでなく、自動車乗っ取り等人命にも関わるような事態も

サイバー攻撃

AI/Robotics

高度情報化社会における さらなるセキュリティ需要の拡大

- ウイルス等黎明期は愉快犯や自身の技術カアピール

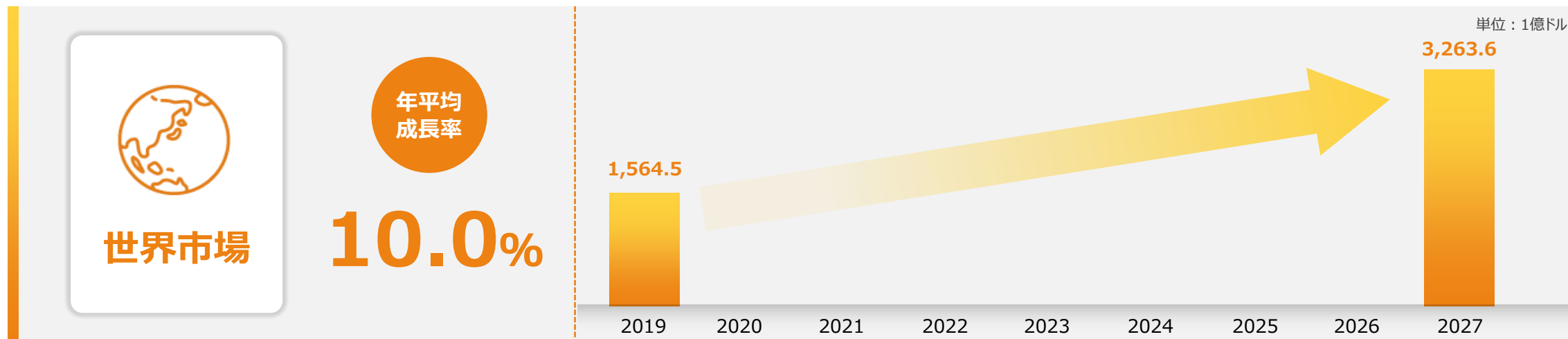
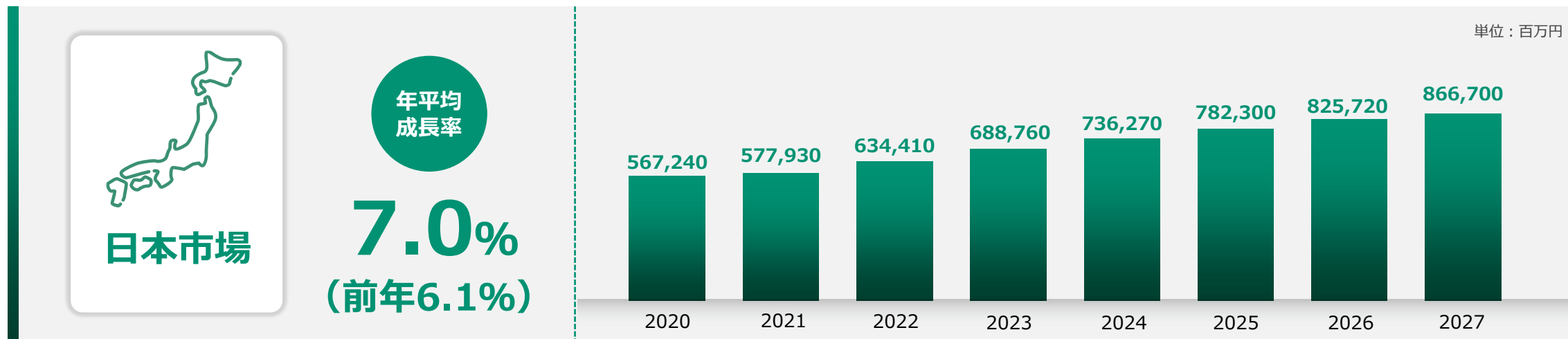
ウイルス等マルウェア

アフターコロナ

- 急造のテレワーク環境
- 拙速なデジタル化

世界各国のコンピュータが接続

事業環境：セキュリティ（製品およびサービス）市場



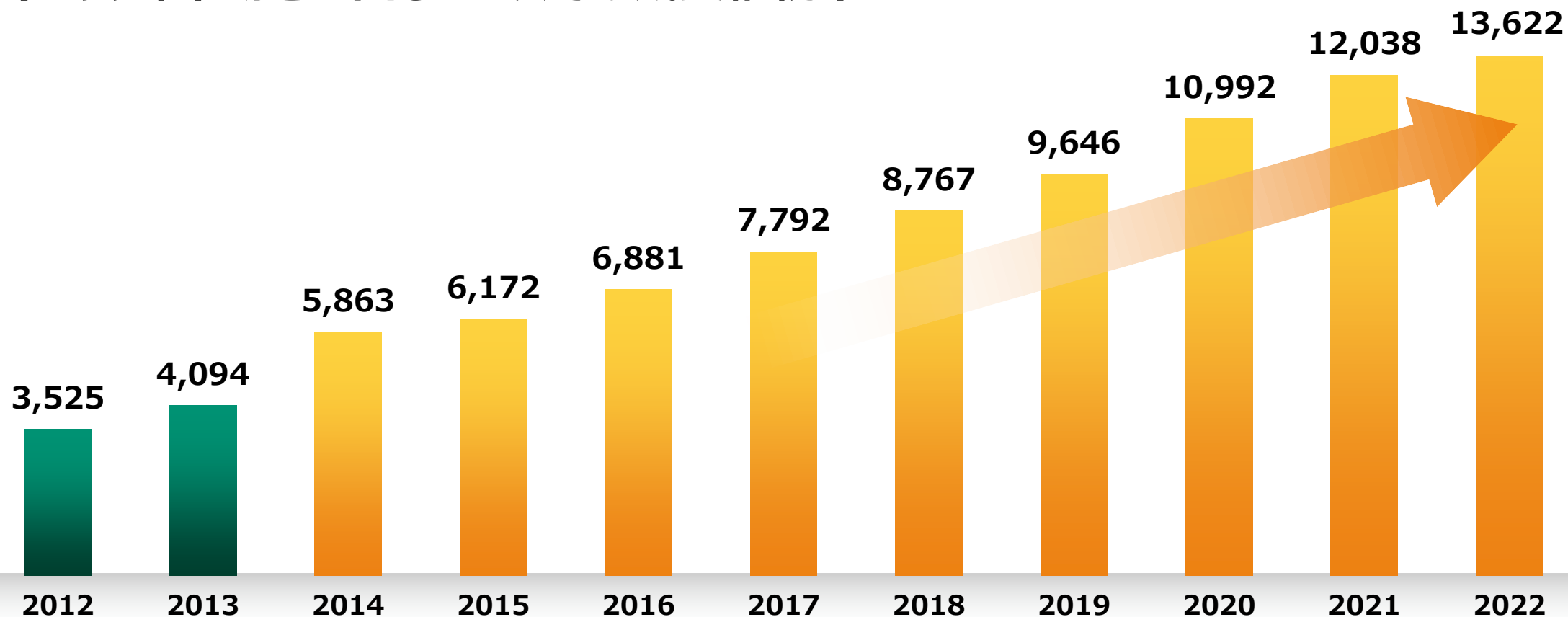
出所：富士キメラ総研「2022 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」
Grand View Research「Cyber Security Market Size & Share Report, 2020-2027」

当社売上高の推移

売上高年平均成長率 **14.5%** (2012~2022年)

単位：百万円

セキュリティ市場を上回るペースでの成長継続中



※2012年および2013年の数値はジェイズ・コミュニケーションの実績数値による

グループの発展を加速させるため2010年よりM&Aを活用

- ✓ 2010年2月 技術力の強化を主な目的として、芝通 大阪事業所を事業譲受
- ✓ 2012年11月 システムエンジニアリング、教育訓練事業を営む非上場企業との合併で
ジェイシーテクノロジーを設立
- ✓ 2013年2月 2012年12月にジェイズ・テレコムシステムを設立し、非上場企業より
音声・IPネットワークシステムの構築・運用・保守事業を譲受
- ✓ 2013年6月 販売パートナーの増加等を目的として、エムワイ・ワークステーションを子会社化
(2015年1月 ジェイズ・コミュニケーションと合併)
- ✓ 2018年4月 開発力強化を目的に、ファルコンシステムコンサルティングを子会社化
(2022年1月 ジェイズ・コミュニケーションと合併)
- ✓ 2019年3月 九州及び中国地区の営業強化のため、アステムを子会社化
(2022年1月 ジェイズ・コミュニケーションと合併)
- ✓ 2022年12月 初の海外進出、ASEAN市場での事業展開を進めるため、
タイ王国 ISS Resolutionを子会社化

IT企業を中心に、様々な種類のシナジー創出を目指す

- ✓ 2013年2月出資 クラウド型CRM/SFAビジネスを展開するナレッジスイート
➡ 2017年12月東証マザーズ上場（現：東証グロース）
- ✓ 2017年10月出資 クラウドサービスの企画・開発・販売を行う非上場企業
➡ 大手IT企業へ取得時を大きく上回る価額にて譲渡
- ✓ 2018年9月出資 AIエンジンを独自開発、DXイノベーションを推進するトリプルアイズ
➡ 2022年5月東証グロース上場
- ✓ 2019年1月出資 AIを用いたメンタルデータテックを提供するラフル
- ✓ 2020年12月出資 独自の秘密分散暗号化技術、秘匿計算技術を有するZenmuTech
- ✓ 2021年2月出資 秘密計算中心のデータセキュリティ技術、AI設計技術を有するEAGLYS
- ✓ 2021年9月出資 システム運用自動化ツールを提供するフィックスポイント
- ✓ 2021年11月出資 採用や教育のオンライン化、人材育成成果の可視化を進めるmanebi

SDGsへの取組み

- IT&セキュリティ人材の育成及び輩出
- エンジニアトレーニングをお客様に提供
- 高付加価値な成果を上げる人材の育成
 - ⇒ 採用組織の強化、組織再編による環境整備、高度セキュリティ技術者組織の新設などグループ全体で取組みを推進
- より働き甲斐のある仕事を実施できる環境の整備
 - ⇒ 採用進捗・人員増加に伴い、オフィス増床を計画
- AIなどの新しい技術や独自技術を有する企業への継続投資



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社 経営管理部 IR担当

<https://segue-g.jp/ir/contact/>